

日本セキュアジェネレーション㈱が大規模システム向け指紋照合エンジン"SecuMatching Engine"を販売開始

指紋認証ソリューションのプロバイダ、日本セキュアジェネレーション㈱(東京都中央区、秋葉茂隆社長)は7月1日、大規模システム向け指紋照合エンジン"SecuMatching Engine"を1日から販売開始すると発表した。

ネットワークシステムにおける本人認証や情報資源に対するアクセスコントロールの重要性が増すなか、認証システムとしては大規模システムへの対応が不可欠な要素になってきたが、同社ではこのニーズに応える製品として、複数の指紋認証要求をリアルタイムに処理(マルチスレッド)し、大規模システムに対応できる指紋照合エンジン"SecuMatching Engine"を開発、販売することにしたもの。"SecuMatching Engine"は指紋認証を必要とする様々なアプリケーションへの組込みが可能で、かつ大規模システムに対応できるため、全社的あるいはグループ企業全体のログオン認証やWebシステムなどでのアクセス制御、グループウェア/ワークフローの決裁業務など多岐に対応可能となっている。対応OSは、Windows NT 4.0 Server / 2000 Server。価格はオープンプライス。

また、"SecuMatching Engine"は、富士通サポート&サービス㈱が提供する「Fsasバイオ認証システムSF2000 Bio」および、キーウェアソリューションズ㈱が提供する「まいきゃび Guard-PA」の認証機能として採用されることになった。今後SecuGenの指紋認証システムが同製品でも利用可能となる。

日本セキュアジェネレーション㈱は、米国SecuGen Corporationの日本法人として2000年1月に設立されたバイオメトリクス認証ソリューションプロバイダである。各種ソリューションプロバイダと戦略的パートナーシップを結び、医療、金融、自治体、サービス業などにおける幅広いアプリケーションを対象に、指紋認証技術を利用した信頼性の高い認証ソリューションを提供している。